

北中だより

校訓：自主 明朗 協同

南島原市立北有馬中学校
令和5年10月12日発行
文責：校長 上田 敏浩

ちょっと立ち止まって

スマートフォンのニュースや情報提供では、自分が興味ある内容のものが出てきます。便利といえば便利です。知りたいことや、関連する情報が次々に出てきて、自分の中で知識や考えが広がったような気になります。しかし、ちょっと立ち止まって考えてみると、自分に都合の良い情報しか流れてこないことにも気づきます。自分とは違う情報や考え方は、画面上には自動ではあらわれません。いつの間にか、自分の世界がそこだけになり、もっと広い視野で物を見たり考えたりすることが難しくなってきます。

日々いろいろなところから流れてくる情報は、当然のことながら加工され、必要なところだけ切り取って提供されます。例えば、「私は〇〇がいい。それに、△△や□□もいいね」という発言があった時に、「△△」や「□□」はカットされ、「〇〇がいい」だけが本人が発言したこととして情報が流れると、発言者の真意がうまく伝わりません。そして、「△△」や「□□」がいいと思っていた人には、真意が伝わりません。情報の出し方で、印象が変わったりするわけです。

また、次の文例をどうとらえますか。「AさんはBさんのように速く走れない。」

2つの意味にとらえることができます。①Bさんの足は速い。②Bさんの足は遅い。①の意味になるように表現すると「Aさんは、Bさんほどは速く走れない。」また、②の意味になるように表現すると「Aさんは、Bさんと同じように足が遅い。」となります。意味が正しく伝わるようにしないと、SNS等での画面上での文字のやり取りでは、真意が伝わらず、誤解を招くことにもなりかねません。

ちょっとした表現の仕方や情報の出し方で、受け取り方も変わります。また、自分に都合の良い情報だけを受け取ると、考え方が狭くなりがちです。様々な情報を受け取りながら、自分はどう考えるのか。また、正しく思いを伝えるためにどう表現したらいいのか。時にはちょっと立ち止まって、表現のあり方を考えてみましょう。

激走！ ～南島原市駅伝大会～

10月上旬に行われた駅伝大会では、男子も女子も、これまでの練習の成果を発揮して力走しました。男子1区では、八木陽大さんが区間賞を獲得し、素晴らしい結果を残すことができました。他の区間でも、タイムでは3～4位につけるなど、次年度に向けての走りが期待される駅伝大会となりました。選手として出場した皆さん、また、サポートで支えてくれた皆さん、応援してくれた皆さん、ありがとうございました。



男子スタート



激走！



あと少し！



女子スタート



もう目の前には次のランナー！



ひた走る！

生徒作品充実の秋 ～プレ文化祭～

校内には、教科で取り組んだ作品やレポートなどが掲示されています。家庭科での弁当のレポート、国語科での俳句の鑑賞文や書写作品、美術で作成した作品が、並んでいます。どの作品やレポートも意欲的な取り組みが感じられます。10月20日（金）は文化祭を開催しますが、学校にお立ち寄りの際は、ぜひ作品の数々も見学いただければ幸いです。



俳句鑑賞文



どれもおいしそうなお弁当



力作が並んでいます



書写作品

また、読書感想文では、1年生の岡野壮真さん、竹市智絵さん、2年生の平野亜里子さんの作品を、本校の代表として読書感想文審査会に提出しました。スポーツ面でも頑張りを見せている生徒たちですが、文化面でも力を発揮していることをうれしく思います。

10月20日の合唱コンクールの練習にも、熱が入ってきています。当日の各学年の合唱が楽しみです。

イタリアとの交流授業 ～歴史がつなぐ北有馬とイタリア～

10月4日（水）、1年生がイタリアのキエーティ市と、オンライン中継による交流授業を行いました。これまで、授業で北有馬や地域の歴史について学んできました。今回は、前半に、門池修さんの御協力のもと、少年使節団が口にしたとされる「びすこうと」を復元したものをいただきました。後半は、末永透さんや国際交流員のエマ又エーレさん、溝田光洋さんに、キアリーニ中学校と中継をつないでいただきました。

イタリアの生徒からの「ドラえもんが好きなら焼きは、本当にあるのか」との質問に、回答者の代表が、本物のどら焼きを見せながら説明しました。また、こちらからの「時間があるときは何をしているか」との質問に対し、生徒たちが知っているRPGの名前が出てきて、「お～」という驚きの声が上がりました。

国境を越えた同じ中学生同士の交流に、生徒たちも学ぶことが多かったようでした。また、北有馬のよさも再発見できた学習となりました。



「びすこうと」



「びすこうと」を食す



画面の向こうはイタリア



最後は手を振ってお別れ

感謝！ ～グラウンドをきれいにしてくれた卒業生たち～

本校の卒業生3人（前年度高校卒業生）が、9日にグラウンドの除草作業を行ってくれました。卒業してからも、学校を思う気持ちに感謝するとともに、皆様の心のよりどころとなるように努めなければと、身の引き締まる思いです。当時の先生方や保護者の皆様、地域の皆様の教えがあったのと、感謝する次第です。（これまでも、保護者の方々にも暑い中に除草作業を行っていただきました。改めて心からお礼申し上げます。）

また、来校した方から、「廊下に埃（ほこり）が落ちていないですね」という、おほめの言葉をいただきました。皆さんの普段の掃除が、丁寧に行われている証です。学舎を大切に思う心、これからも大切にしたいものです。

